

第1学年 国語科学習指導案

日時 平成26年9月26日(金)5校時
児童 1年男16名女17名計33名
指導者 菊地まゆみ
荒谷寿恵(すこやかサポート)

1 単元名 なるほどじどう車ずかんをつくろう

教材名 じどう車くらべ

2 単元を貫く言語活動の特徴

本単元では、「時間的な順序や事柄の順序を考えながら内容の大体を読む」(読イ)力と「自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える」(書イ)力を付けさせたい。

単元を貫く言語活動として、「C読むこと」と「B書くこと」の領域を複合させ、自動車図鑑を書く活動を設定した。具体的には、いろいろな自動車の「しごと」と「つくり」について調べ、自分の気に入った自動車の「なるほどじどう車ずかん」を作る。自動車図鑑を書く活動を設定することにより、子どもたちは、自分のお気に入りの自動車を説明するために、様々な情報の中から必然的に「しごと」と「つくり」の関係に着目して読むことになる。そのため、本言語活動は、文章の構成上の順序をとらえて内容を読む力の実現に結び付くと考える。

3 単元について

(1) 児童について

児童はこれまでに、「くちばし」で本文から「問い」と「答え」の文を見つける学習をし、説明文の基本的な形を学んだ。そして、その学習を生かして自分が選んだ鳥のくちばしについて説明する文を書き、「なるほどくちばしずかん」を作る活動を経験した。また、「みいつけた」では、「問い+答え+答え+答え」で構成された説明文の形を学習した。子どもたちは、基本文型を手がかりに問いと答えの文を探したり、文章と挿絵や写真を対応させたりしながら内容を読むことができるようになってきた。しかし、説明されている事柄の順序を考えながら内容を読む力の個人差は大きく、十分に指導できているとは言えない。また、必要な情報を整理して文にまとめることも、これから身に付けさせていかなければならない力である。

(2) 単元について

「じどう車くらべ」は、子どもたちが興味・関心をもち、身近な存在である自動車を取り上げた説明文である。「しごと」と「つくり」という2つの問いに対して2つの段落で答えるという、明確な文章構成で書かれている。また、子どもたちが内容を理解しやすいように文末表現や接続語をパターン化したり、「つくり」を体の部分に見立てたりするなどの工夫がなされている。そこで、文章の構成を理解し、自分の力で「しごと」と「つくり」を見つけさせたい。その発展的な学習として、自分が選んだ自動車の簡単な説明文を書かせる。このような学習活動によって、大事な言葉や文を書き抜きながら説明されている内容の大体をとらえる力や、簡単な構成の説明的な文章を書く力を育てたい。

(3) 指導にあたって

本教材の指導にあたって、次のような点に留意していきたい。

- ①自動車の絵本や図鑑を教室に展示し、いつでも手に取って見ることができるようにして学習意欲を高めると共に、図鑑作りをする際にたくさんの自動車の中から自分の好きな自動車を選べるようにする。
- ②「問い」と「答え」、「答え」の中に「しごと」と「つくり」が述べられていることなど、教材文全体を通して同じ文型が繰り返されていることが一目でわかるような、ワークシートを工夫する。
- ③教材文に出てくるそれぞれの自動車と、自分が選んだ自動車の説明文を図鑑のページとして書きためていき、学習の成果として蓄積していく。最後に綴じて図鑑を完成させ、達成感をもたせる。
- ④「しごと」と「つくり」を視覚的にも区別できるように、赤と青で色分けしたカードやシールを準備して、「そのために」でつないで書くことができるようにする。

(4) 本单元にかかわる言語活動系統表

1年 くちばし (読イ書イ)

- ◆なるほどくちばしずかんを作ろう (図鑑作り)
- 事柄の順序を考えながら内容の大体をつかむ力。
(「問い」と「答え」)
- なんの～でしょう

みいつけた (イ)

- ◆いきものカードをかこう (カード作り, 発表会)
- 何と何がどういう順番で書かれているか理解する力
(問い-答え-答え-答え)
- ～に います。 (～する) と ～からです。

じどう車くらべ (読イ書イ)

- ◆なるほどじどう車ずかんをつくろう (図鑑作り)
- 事柄の順序を考えながら内容の大体をつかむ力。
(二つの問い-答え-答え-答え)
- しごと つくり そのために

どうぶつ赤ちゃん (イ・エ)

- ◆わたしの赤ちゃんのころをしらべよう
(アルバム作り, 発表会)
- まとまりごとの内容の違いに気が付く力
(二つの問い-答え-答え)
- じぶんでは～ません。 じぶんで～ます。

◆单元名

- 付けたい力 (言語活動の構成要素, 読みの観点)
- 大切な用語・使わせたい言葉

2年 たんぼぼのちえ (イ・エ・オ)

- ◆わたしのたんぼぼずかんを作ろう
- 季節を表す言葉, 日にち, 時間を表す言葉に着目して読む力。
- ちえ わけ

どうぶつ園のじゅうい (イ)

- ◆かかりのしょうかいカードを書こう
- 時間的順序や事柄の順序を考えながら読み, 感想をまとめる。
- ひきつけられたところ

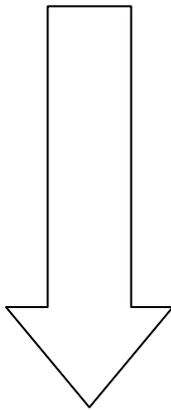
しかけカードの作り方 (イ)

- ◆おもちゃの作り方せつめい書を作ろう
- 作り方を順を追って説明した文章の, 説明の工夫について考える力。
- まず つぎに それから こんどは さいごに せつめいのこつ

4 単元の学習指導目標及び評価規準

	学習指導目標	評価規準
関意態	○知りたいことや興味をもったことに関する情報を得るために, 自動車について説明した本や文章を選んで読もうとする。	○自動車図鑑を作るために, 自動車について書かれた本や文章を進んで読もうとしている。
能力	◎自動車の「しごと」と「つくり」が書かれていることを理解しながら, 内容の大体を読むことができる。(読イ) ◎選んだ自動車について, 「しごと」と「つくり」の関係をもとに構成を考えることができる。(書イ)	◎自動車図鑑づくりに向けて自動車の「しごと」と「つくり」やその関係をとらえて読んでいる。 ◎選んだ自動車について, 「しごと」に応じた「つくり」になるように, 自動車図鑑の構成をふまえて書いている。
知理技	○片仮名で, 長音, 拗音, 促音を表記することができる。(伝国ウ)	○教科書に提示された片仮名を正しく書いている。

5 単元の指導計画と評価規準 12時間

	主な学習活動	ゴールへの 並行活動	評価規準
第一 次 (2)	1 自動車について知っていることを話し合ったり、図鑑のモデルを見たりして、図鑑作りへの意欲をもつ。 2 自分が図鑑を作りたい自動車を決めて、学習計画を立てる。	自動車の絵本や図鑑を読み、好きな自動車を選ぶ。 選んだ自動車について、他の絵本や図鑑を読む。	【関】自動車に関心をもち、「なるほどじどう車ずかん」を作ろうとしている。(発言・観察)
第二 次 (5)	3 「じどう車くらべ」の文章から、「しごと」と「つくり」を見付け、説明の順序をつかむ。 4 「じどう車くらべ」のそれぞれの自動車の「しごと」に着目して読む。 自分の選んだ自動車の「しごと」について考える。 5 「じどう車くらべ」のそれぞれの自動車の「つくり」に着目して読む。 自分の選んだ自動車の「つくり」について考える。 6 「じどう車くらべ」の中のトラックについて、「しごと」と「つくり」の関連に着目して読む。 自分の選んだ自動車の「しごと」と「つくり」について考える。 7 はしご車の「しごと」に合わせた「つくり」を選び、「そのために」でつなげた文章の組み立てについて考える。(本時)	※毎時間自分の選んだ自動車について考える時間をとり、書かためていく。 	【読】「じどう車くらべ」には2つの問いがあり、「しごと」と「つくり」について読み取っていくことをつかんでいる。(発言・シート・観察) 【読】教材文の自動車の「しごと」とらえている。(発言・シート) 【読】自動車の図鑑の中の、自分の選んだ自動車の「つくり」とらえている。(発言・シート) 【読】「しごと」をするための「つくり」になっていることをとらえて読んでいる。(発言・シート) 【知理技】教材文に出てくる片仮名を正しく書いている。(シート) 【書】「しごと」に合わせた「つくり」を選び、文章の組み立てについて考えている。(発言・シート・観察)
第三 次 (5)	8～10 自分が選んだ自動車の「しごと」と「つくり」を説明する文章を書き、「なるほどじどう車ずかん」を作る。 11 図鑑を完成させる。 12 友だちと発表し合い、感想を伝え合う。		【書】選んだ自動車について、「しごと」と「つくり」を、「そのために」を使って書いている。(シート) 【関】じどう車の「しごと」と「つくり」に興味を持って発表を聞いている。(発言・観察)

6 本時の指導

(1) 本時の目標

はしご車の「しごと」に合わせた「つくり」を選び、「そのために」でつなげた文章の組み立てについて考える。(書イ)

(2) 授業改善のポイント

単元のゴールである「なるほどじどう車ずかん」の完成に向け、はしご車について「つくり」の情報を取り上げて取捨選択しながら図鑑の形式にまとめる。さらに、自分が選んだ自動車についても考え、カードに書き足す。

① 考えをつなぐ(目的を明確にし、自分の学びや友達との学びのかかわりを国語科用語や語彙を活用して表現し合う活動の工夫)

はしご車の「しごと」にぴったりの「つくり」はどれか、自分で考えたことをもとにして友だちと相談する。

② 学びをつなぐ(指導事項・言語活動の系統性、学びを生かす単元計画)

前時までにバス・じょうよう車、トラック、クレーン車で学習した文章の組み立てを振り返らせ、「しごと」に合わせた「つくり」を図鑑で説明する必要性を確認する。

まとめ 15分	7 学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> はしご車の「しごと」と「つくり」の関係について振り返る。 自分が選んだ自動車の「しごと」と「つくり」を再度見直し、必要に応じてシートに書き足す。 	<p>②学びをつなぐ 本時の学習を生かして、自分が選んだ自動車の「しごと」と「つくり」の関係について考えさせる。</p> <p>【振り返りの観点】 友だちと学んだよさ 友だちと学んで気付いたこと。</p>
	8 次時の予告	

(4) 評価規準

評価の方法	ワークシート
評価規準	【書イ】はしご車の「しごと」と「つくり」の構成をとらえ、「しごと」に合った「つくり」を選んでいる。
努力を要する児童への手立て	挿絵を指差したり丸で囲んだりして、挿絵のどの部分なのか確かめながら「つくり」について考えさせる。

(5) 板書計画

つくり

- あかいろをしています。
- スピーカーがついています。
- はしごにかいだんがついています。

たかいところまではしごがのびるようになっていきます。

たすけた人をのせるかごがついています。

はしごをのぼすために、きかいでうごかします。

はしごしゃがたおれないように、あしがついています。

そのために

しごと

たかいところにいる人をたすける。

(はしご車の絵)

①か
はしご車の「しごと」と「つくり」をかんがえよう。

なるほどじどう車ずかんをつくらう
じどうしゃくらべ

ふりかえり